

(様式 1-3)

福島県（大熊町）帰還環境整備事業計画 帰還環境整備事業等個票

平成28年2月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	8	事業名	飲料水安全確保対策事業	事業番号	(2)-18-1
交付団体	大熊町		事業実施主体（直接/間接）	直接	
総交付対象事業費	55,657（千円）		全体事業費	55,657（千円）	
帰還環境整備に関する目標					
本町においては、東日本大震災及び原発事故により多くの生命・財産の喪失に加え、全町民が避難を余儀なくされており、本町（町及び自宅）へ帰還するまでの避難生活が長期化している。そのため、その対応や帰還を目指した各種の事業を行う必要がある。本事業は、全町避難となっている大熊町内でも比較的放射線量が低い中屋敷地区を中心としたものである。今後の帰還を視野にいれ安全な飲料水の確保を目的とし、今後の帰還や、町民の安心へ繋げることを目標とする。					
事業概要					
帰還を望む住民の安全・安心を確保するため、沢水・湧水を飲料水に利用している住宅を中心に井戸を掘削し、水質の調査を行い、その結果に応じて放射性物質を極力取り込まない対策を講じる。 これに伴い対象区域の公民館についても井戸の掘削し、近隣住民で利用することを目的とするほか、帰宅者が一時立ち寄りなどにも利用することを検討する。 ※当該事業を復興ビジョン、復興計画、復興プラン等に位置付けている場合は、該当箇所及び概要も記載してください					
当面の事業概要					
＜平成28年度＞ ・井戸掘削 希望世帯8件（1世帯：1本） ・ " 公民館1件（1本） ・井戸水の水質調査 ＜平成29年度＞					
関連する事業の概要					
※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。					
関連する基幹事業					
事業番号					
事業名					
交付団体					
基幹事業との関連性					